

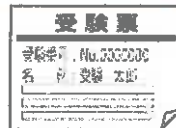


mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

特別入試の出願に行ってきました



1日、県立特別入学者選抜の願書提出に行き、すべて無事に完了しました。

3年生を担当するたびに思っていました、この出願を終えると教員としての仕事は一区切りです。「こちらのやるべきことは全てやったよ。後は君たちがやる番だよ。」という心境になったものです。特に受験票（受験票）を渡す時は、その思いを伝えるように心を込めて手渡していました。

提出前に願書等の点検を行いました、今年も3年生の先生方は、本当に丁寧に心を込めて全ての書類を仕上げてくださいました。かなりの時間を労したことと思います。

学年を担当していると、なかなか自分たちでは言いにくいものなので、代わりに私から言います。あなたたちの後には、膨大な労力と愛情の後押しがある。それに支えられて受験（受験）に行けることに心から感謝してほしい。

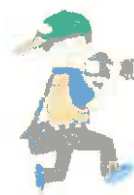
もちろん、それ以上にあなたたちの家族への感謝も忘れずに…。

3年生のみんなは、これを読むのは私立1期入試の後になりますね。

次に県立は第一志望の人は、気を抜くことなく、目標達成に向けてまい進してください。



カギかけコンテスト表彰式 in 岡山県庁



1日午後、岡山県庁で「カギかけコンテスト」の表彰式がありました。今年は見事に「100%」達成なので、胸を張っての参加です。

生徒会長の森本さん、生徒会顧問の森直裕先生が出席しました。

森先生、県庁での表彰式の雰囲気はかなり緊張しましたってことでしたが、「ベストショットを！」と撮影を依頼（プレッシャー？）していたら、何と想定以上の31枚もの撮影をして帰って来ました。「ホンマに緊張しとったんかい！！」と心で突っ込みました。

表彰、おめでとう！来年は連覇してください。それと日常も100%でね（苦笑）。



備前文学賞 感性豊かな作品揃い!

第三回備前市文学賞の入賞者の発表がありました。

本校からは次の9名が見事受賞となりました。

どの作品も、中学生らしい感性あふれるものばかりで感心します。

日常生活で感じたことや、物事に対しての自分の思いを言葉を綴って表現すること…難しいことではありますが、素直に自分を表現することは大切であり、今後の人生に大きく役立ちます。

これからもしっかりと「表現」していってください。受賞したみなさん、おめでとう!



短歌中学生の部 佳作

- 空飛んで鳥のようにばたいて雲の一つを食べてみたい
- あと一つ上がったボールを追いかけてフェンスをこえて先輩涙
- 夏祭りゆかたを着ている君がいるボクの心にストライクして
- 夏休み初めて行ったコンサート笑顔でいられる時間短し
- 夏休み体育館にひびく音流れる汗は勝利へのカギ

川邊 匠真
青山 琉星
柳川 龍騎
川淵 琴実
高見 輝夜



俳句中学生の部 入選

- 水平線猛暑の海でゆらいでる
- アジサイの葉の上にあるダイヤモンド
- 夏の田で音符が出世し合唱者

室田祥太郎

同 佳作

- 夏終わり僕の思いは地平線
- 試合後の汗と涙が強くなる
- あげ花火満面の笑顔暗い影
- 進まない課題とともに夏過ぎる
- 届かない花火のように散っていく

岸本 浩佑

河崎 遥香
豊福友里華



選者の先生の言葉に気になるものがありました。「応募作品の文字は「濃く大きく」が鉄則だが、薄くて細く小さい字で書かれた作品がかなり有り、読みづらい上に意味の通じないものが多く、これらはほとんど没にしてしまった。」というものです。考えさせられますね。せっかく作った作品の思いも、通じなくては元も子もありません。「相手の身になって考える」ということでしょうか。それがこの場合は、「濃く、大きく、読みやすく書く」ということなのですね。

やはりどの世界、分野においても「思いやり」が大切なようです。



ミッツィ先生に教えられた Valentine



1月31日の下校指導中、ミッツィ先生が帰られる時に話しかけられました。もちろん英語です。もちろん×2、私の応対も英語です。それによりますと…私の描いた黒板アートに「Valentine Day」とありましたが、ミッツィ先生の流ちょうな英語の中から「アポストロフィー」とか「エス」とかの単語が聞こえます（苦笑）。どうやら正確には「Valentine's Day」なのだとな気づき、大正解!早速直しましたので、前号の黒板の文字は、脳内補完で「's」が付いているものとしてお願いします。

ということで、正しくは「Valentine's day kiss ♪」になるようですよ国生さゆりさん（苦笑）。このネタ、わかりますかな〜?